

郷土を知る
むかしむかし

昔々の そお市

生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

第39回



あの日から1年 投谷八幡宮の今

令

和4年6月25日早朝、大隅町大谷に鎮座する投谷八幡宮の本殿・拜殿・末社が全焼、貴重な歴史建造物が焼失しました。原因は不明のままですが、あの時の光景は今も忘れることができません。

この火災により、本殿（江戸中期）および末社（江戸前期）は今年3月9日付けで県指定文化財を解除、また本殿と一緒に焼失した王子面（戦国時代）も4月13日付けで市指定を解除となりました。

あの日から早1年が経過しました。現在、神社の方々は再建に向けて日頃の清掃活動はもちろんですが、仮設の参拝所設置や寄付活動などの様々な取り組みを行っています。また火災後中断していた伝統行事も、今年から復活するとのことです。

まず7月下旬には夏越祭（大祓祭・茅の輪くぐり）が実施されます。

これは茅（チガヤとも）の若葉で作った輪の中を3周回ると流行病を免れるとされ、全国各地の神社で行われています。

一般的な茅の輪くぐりは、境内に設置された茅の輪の正面で、①一礼して左足で茅の輪をまたぎ左回りで正面へ。②一礼して右足でまたぎ右回り

で正面へ。③一礼して左足でまたぎ左回りで正面へ。④一礼して左足でまたぎ参拝。すなわち8の字を描く形になります。

ところが投谷八幡宮では、拜殿内に設置された茅の輪の正面で一礼して、左足で茅の輪をまたぎ、右回りで正面へ、この同じ動作で3周回するため、ほかの地域と異なる珍しい作法といえます。

また茅の輪に使う茅は、伝統で必ず菱ヶ迫集落のものをを用いるとのことです。現在、茅は別地で採取しますが、必ず菱ヶ迫を通過して投谷八幡宮へ向かっています。

再建には様々な課題はありますが、神社や地域の人々は、復興に向けて活動しております。ぜひ皆さまも現在の投谷八幡宮へお越しください。



『茅の輪くぐり』



【アクセス】
投谷八幡宮
曾於市大隅町大谷553番地

なごしまつり 夏越祭を開催します！

自身の穢れや厄災を祓い清め、この先半年の無事を祈る茅の輪くぐり。皆様のお越しをお待ちしています。

日程 7月23日（日）
時間 午前8時～
場所 投谷八幡宮

※駐車場は80台程度あります。